



WLAN コマンド

- [aaa-override](#) (3 ページ)
- [accounting-list](#) (4 ページ)
- [assisted-roaming](#) (5 ページ)
- [ap name ap-name lan port-id port-id poe](#) (7 ページ)
- [ap name ap-name lan override](#) (8 ページ)
- [band-select](#) (9 ページ)
- [broadcast-ssid](#) (10 ページ)
- [call-snoop](#) (11 ページ)
- [channel-scan defer-priority](#) (12 ページ)
- [channel-scan defer-time](#) (13 ページ)
- [chd](#) (14 ページ)
- [client association limit](#) (15 ページ)
- [client vlan](#) (17 ページ)
- [ccx aironet-iesupport](#) (18 ページ)
- [datalink flow monitor](#) (19 ページ)
- [device-classification](#) (20 ページ)
- [default](#) (21 ページ)
- [dtim dot11](#) (24 ページ)
- [exclusionlist](#) (25 ページ)
- [exit](#) (26 ページ)
- [exit \(WLAN AP グループ\)](#) (27 ページ)
- [ip access-group](#) (28 ページ)
- [ip flow monitor](#) (29 ページ)
- [ip verify source mac-check](#) (30 ページ)
- [load-balance](#) (31 ページ)
- [mobility anchor](#) (32 ページ)
- [nac](#) (34 ページ)
- [passive-client](#) (35 ページ)
- [peer-blocking](#) (36 ページ)

- port (37 ページ)
- poe (38 ページ)
- radio (39 ページ)
- radio-policy (40 ページ)
- remote-lan (41 ページ)
- remote-lan (42 ページ)
- roamed-voice-client re-anchor (43 ページ)
- security ft (44 ページ)
- security pmf (46 ページ)
- security web-auth (48 ページ)
- security wpa akm (49 ページ)
- service-policy (WLAN) (51 ページ)
- session-timeout (53 ページ)
- show remote-lan all (54 ページ)
- show remote-lan id (55 ページ)
- show remote-lan name (56 ページ)
- show remote-lan summary (57 ページ)
- show running-config remote-lan (58 ページ)
- show wlan (59 ページ)
- show wireless wlan summary (62 ページ)
- shutdown (63 ページ)
- sip-cac (64 ページ)
- static-ip tunneling (65 ページ)
- vlan (66 ページ)
- universal-admin (67 ページ)
- wgb non-cisco (68 ページ)
- wifidirect policy (69 ページ)
- wlan (AP グループの設定) (70 ページ)
- wlan (71 ページ)
- wlan shutdown (72 ページ)
- wmm (73 ページ)

aaa-override

WLAN で AAA オーバーライドを有効にするには、**aaa-override** コマンドを使用します。AAA オーバーライドを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa-override
no aaa-override

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンドデフォルト

デフォルトでは AAA が無効になっています。

コマンドモード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、 、 、 、 、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN で AAA を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# shutdown
Switch(config-wlan)# aaa-override
Switch(config-wlan)# no shutdown
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN で AAA を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# shutdown
Switch(config-wlan)# no aaa-override
Switch(config-wlan)# no shutdown
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

accounting-list

WLANでRADIUS アカウンティングサーバを設定するには、**accounting-list** コマンドを使用します。RADIUS サーバ アカウンティングを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
accounting-list radius-server-acct
no accounting-list
```

構文の説明

radius-server-acct アカウンティング RADIUS サーバ名。

コマンド デフォルト

デフォルトでは RADIUS サーバ アカウンティングが無効になっています。

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN で RADIUS サーバ アカウンティングを設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# accounting-list test
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN で RADIUS サーバ アカウンティングを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no accounting-list test
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

assisted-roaming

WLAN で 802.11k を使用して経路ローミングを設定するには、**assisted-roaming** コマンドを使用します。経路ローミングを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

assisted-roaming {**dual-list**|**neighbor-list**|**prediction**}

no assisted-roaming {**dual-list**|**neighbor-list**|**prediction**}

構文の説明	dual-list WLAN のデュアルバンド 802.11k ネイバー リストを設定します。デフォルトは、クライアントが現在関連付けられている帯域です。
	neighbor-list WLAN の 802.11k ネイバー リストを設定します。
	prediction WLAN の経路ローミング最適化の予測を設定します。
コマンド デフォルト	ネイバー リストとデュアルバンドのサポートはデフォルトで有効になっています。デフォルトは、クライアントが現在関連付けられている帯域です。
コマンド モード	WLAN の設定
コマンド履歴	リリース 変更内容 Cisco IOS XE このコマンドが導入されました。 3.3SE
使用上のガイドライン	経路ローミングの予測のリストを有効にすると、警告が表示されます。また、WLAN でロードバランシングがすでに有効になっている場合、ロードバランシングはその WLAN で無効になります。WLAN に変更を加えるには、WLAN が無効状態になっている必要があります。

例

次に、WLAN で 802.11k ネイバー リストを設定する例を示します。

```
Switch(config-wlan)#assisted-roaming neighbor-list
```

次に、WLAN でロードバランシングが有効になっている場合の警告メッセージの例を示します。経路ローミングを設定するときにロードバランシングがすでに有効になっている場合は、ロードバランシングを無効にする必要があります。

```
Switch(config)#wlan test-prediction 2 test-prediction
Switch(config-wlan)#client vlan 43
Switch(config-wlan)#no security wpa
Switch(config-wlan)#load-balance
Switch(config-wlan)#assisted-roaming prediction
WARNING: Enabling neighbor list prediction optimization may slow association and impact
VOICE client perform.
Are you sure you want to continue? (y/n) [y]: y
```

```
% Request aborted - Must first disable Load Balancing before enabling Assisted Roaming  
Prediction Optimization on this WLAN.
```

ap name ap-name lan port-id port-id poe

AP の LAN ポートで PoE を有効にするには、特権 EXEC モードで **ap name ap-name lan port-id port-id poe** コマンドを使用します。AP の LAN ポートで PoE を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。



(注) PoE はポート 1 に対してのみ設定できます。

ap name ap-name lan port-id port-id poe

ap name ap-name no lan port-id port-id poe

構文の説明

ap-name AP の名前。

port-id ポートの ID。

コマンドデフォルト

デフォルトでは、PoE は無効です。

コマンドモード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。

次に、AP の LAN ポートで PoE を有効にする例を示します。

```
Switch # ap name AP00FE.C82D.DFB0 lan port-id 1 poe
```

ap name ap-name lan override

AP グループの LAN ポート設定をオーバーライドするには、特権 EXEC モードで **ap name ap-name lan override** コマンドを使用します。AP グループの LAN ポート設定でオーバーライドを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ap name *ap-name* **lan override**

ap name *ap-name* **no lan override**

構文の説明

ap-name AP の名前。
前。

コマンド デフォルト

デフォルトでは、LAN オーバーライドはディセーブルに設定されています。



(注) 各 AP の LAN ポート設定は、LAN のオーバーライドが有効な場合にのみ許可されます。

コマンド モード

特権 EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。

次に、AP グループの LAN ポート設定でオーバーライドを有効にする例を示します。

```
Switch # ap name AP00FE.C82D.DFB0 lan override
```


band-select

WLAN で帯域選択を設定するには、**band-select** コマンドを使用します。帯域選択を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

band-select
no band-select

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンドデフォルト

デフォルトでは、帯域選択は無効になっています。

コマンドモード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

WLAN で帯域選択を有効にすると、アクセスポイントによって 2.4 GHz でのクライアントプロンプが抑制され、デュアルバンドクライアントが 5 GHz スペクトルに移動されます。帯域選択アルゴリズムによるデュアルバンドクライアントの誘導は、同じアクセスポイントの 2.4 GHz 無線から 5 GHz 無線へに限られます。このアルゴリズムが機能するのは、アクセスポイントで 2.4 GHz と 5 GHz の両方の無線が稼働している場合のみです。

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN で帯域選択を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# band-select
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN で帯域選択を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no band-select
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

broadcast-ssid

WLAN でサービスセット識別子 (SSID) を有効にするには、**broadcast-ssid** コマンドを使用します。SSID のブロードキャストを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

broadcast-ssid
no broadcast-ssid

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

WLAN の SSID はデフォルトでブロードキャストされます。

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN でブロードキャスト SSID を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# broadcast-ssid
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN でブロードキャスト SSID を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no broadcast-ssid
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

call-snoop

WLAN で Voice over IP (VoIP) スヌーピングを有効にするには、**call-snoop** コマンドを使用します。Voice over IP (VoIP) を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

call-snoop
no call-snoop

構文の説明	このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。				
コマンドデフォルト	デフォルトでは VoIP スヌーピングは無効になっています。				
コマンドモード	WLAN 設定				
使用上のガイドライン	このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN を無効にする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cisco IOS XE 3.2SE、、、、</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。				

使用上のガイドライン コールスヌーピングが設定される WLAN は、Platinum QoS で設定されている必要があります。このコマンドを使用する前に、QoS を無効にする必要があります。QoS サービス ポリシーの設定の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN で VoIP を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# call-snoop
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN で VoIP を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no call-snoop
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[service-policy \(WLAN\)](#)

[wlan \(71 ページ\)](#)

channel-scan defer-priority

オフチャネルスキャンを延期できるパケットの優先順位マーキングに対して、延期するようにデバイスを設定するには、**channel-scan defer-priority** コマンドを使用します。オフチャネルスキャンを延期できるパケットの優先順位マーキングに対して、延期するデバイスを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

channel-scan defer-priority *priority*
no channel-scan defer-priority *priority*

構文の説明

priority チャンネル優先順位値。指定できる範囲は0～7です。デフォルトは3です。

コマンド デフォルト

チャンネル スキャン延期が有効になっています。

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。

次に、WLAN でチャンネル スキャン延期優先順位を有効にして、それを優先順位値 4 に設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# channel-scan defer-priority 4
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN でチャンネル スキャン延期優先順位を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no channel-scan defer-priority 4
Switch(config-wlan)# end
```

channel-scan defer-time

チャンネルスキャン延期時間を割り当てるには、**channel-scandefer-time** コマンドを使用します。チャンネルスキャン延期時間を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

channel-scan defer-time msec

no channel-scan defer-time

構文の説明	<i>msecs</i> 延期時間（ミリ秒単位）。範囲は0～60000です。デフォルトは100です。
コマンド デフォルト	チャンネルスキャン延期時間が有効になっています。
コマンド モード	WLAN の設定
コマンド履歴	リリース 変更内容 Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	ミリ秒単位の時間値は、WLAN 機器の要件を満たす必要があります。

次に、WLAN でチャンネルスキャンを有効にして、スキャン延期時間を 300 ミリ秒に設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# channel-scan defer-time 300
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN でチャンネルスキャン延期時間を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no channel-scan defer-time
Switch(config-wlan)# end
```

chd

WLAN でカバレッジ ホール検出を有効にするには、**chd** コマンドを使用します。カバレッジ ホール検出を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

chd
no chd

構文の説明 このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト カバレッジ ホール検出が有効になっています。

コマンド モード WLAN の設定

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、	、、、、 このコマンドが導入されました。

次に、WLAN でカバレッジ ホール検出を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# chd
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN でカバレッジ ホール検出を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no chd
Switch(config-wlan)# end
```

client association limit

WLAN のクライアント接続、アクセス ポイントあたりのクライアント、または無線アクセス ポイントあたりのクライアントの最大数を設定するには、**clientassociationlimit** コマンドを使用します。WLAN のクライアント アソシエーションの上限を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

client association limit {*association-limit*|**ap** *ap-limit*|**radio** *max-ap-radio-limit*}

no client association limit {*association-limit*|**ap** *ap-limit*|**radio** *max-ap-radio-limit*}

構文の説明

<i>association-limit</i>	許可されるクライアント接続の数。有効な範囲は 0 ～ 2000 です。値がゼロ (0) の場合、上限が設定されていないことを示します。
ap	アクセス ポイントあたりのクライアントの最大数。
<i>ap-limit</i>	無線アクセス ポイントあたりに許可されるクライアント接続の最大数を設定します。有効な範囲は 0 ～ 400 です。
radio	無線 AP あたりのクライアントの最大数を設定します。
<i>max-ap-radio-limit</i>	無線アクセス ポイントあたりに許可されるクライアント接続の最大数。有効な範囲は 0 ～ 200 です。

コマンドデフォルト

クライアント接続の最大数は 0 (上限なし) に設定されています。

コマンドモード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。
Cisco IOS XE 3.3SE	コマンドが変更されました。 ap キーワードと radio キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLANのクライアントアソシエーションの制限を設定し、クライアントの上限を 200 に設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# shutdown
Switch(config-wlan)# client association limit 200
Switch(config-wlan)# no shutdown
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLANのクライアントアソシエーションの制限をディセーブルにする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# shutdown
Switch(config-wlan)# no client association limit
Switch(config-wlan)# no shutdown
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLANの無線あたりのクライアントアソシエーションの制限を設定し、クライアントの上限を 200 に設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# client association limit radio 200
Switch(config-wlan)# no shutdown
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLANのAPあたりのクライアントアソシエーションの制限を設定し、クライアントの上限を 300 に設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# client association limit ap 300
Switch(config-wlan)# no shutdown
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

client vlan

WLAN インターフェイスまたはインターフェイス グループを設定するには、**clientvlan** コマンドを使用します。WLAN インターフェイスをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
client vlan interface-id-name-or-group-name
no client vlan
```

構文の説明	<i>interface-id-name-or-group-name</i> インターフェイス ID、名前、または VLAN グループ名。インターフェイス ID は、複数桁で指定することもできます。				
コマンド デフォルト	デフォルト インターフェイスが設定されています。				
コマンド モード	WLAN の設定				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cisco IOS XE 3.2SE、</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。				

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN のクライアント VLAN をイネーブルにする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# client vlan client-vlan1
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN 上のクライアント VLAN をディセーブルにする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no client vlan
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

ccx aironet-iesupport

WLAN で Aironet 情報要素 (IE) を有効にするには、**ccxaironet-iesupport** コマンドを使用します。Aironet 情報要素 (IE) を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ccx aironet-iesupport
no ccx aironet-iesupport

構文の説明 このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト Aironet IE サポートは有効になっています。

コマンド モード WLAN の設定

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN で Aironet IE を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# ccx aironet-iesupport
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN で Aironet IE を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no ccx aironet-iesupport
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

datalink flow monitor

WLAN での NetFlow モニタリングを有効にするには、**datalinkflowmonitor** コマンドを使用します。NetFlow モニタリングを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
datalink flow monitor datalink-monitor-name {input|output}
no datalink flow monitor datalink-monitor-name {input|output}
```

構文の説明	<i>datalink-monitor-name</i> フローモニタ名。データリンク モニタ名には最大 31 文字を含めることができます。
	input 入力トラフィックの NetFlow モニタを指定します。
	output 出力トラフィックの NetFlow モニタを指定します。

コマンド デフォルト なし。

コマンド モード WLAN の設定

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、	、、、、 このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN での NetFlow モニタリングを有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# datalink flow monitor test output
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN での NetFlow モニタリングを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no datalink flow monitor test output
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

device-classification

WLAN でクライアントデバイスの分類を有効にするには、**device-classification** コマンドを使用します。デバイスの分類を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

device-classification
no device-classification

構文の説明	device-classification クライアントデバイスの分類を有効または無効にします。
-------	---

コマンド デフォルト	なし。
------------	-----

コマンド モード	WLAN の設定
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、	、、、、 このコマンドが導入されました。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# device-classification
Switch(config-wlan)# end
```

default

パラメータをデフォルト値に設定するには、**default** コマンドを使用します。

```
default {aaa-override|accounting-list|band-select|broadcast-ssid|call-snoop|ccx|channel-scan|chd|client|datalink|diag-channel|dtim|exclusionlist|ip|ipv6}
```

構文の説明

aaa-override	AAA オーバーライド パラメータをデフォルト値に設定します。
accounting-list	アカウントング パラメータとその属性をデフォルト値に設定します。
band-select	帯域選択パラメータをデフォルト値に設定します。
broadcast-ssid	ブロードキャストのサービスセット識別子 (SSID) パラメータをデフォルト値に設定します。
call-snoop	コール スヌープ パラメータをデフォルト値に設定します。
ccx	Cisco Client Extension (Cisco Aironet IE) のパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
channel-scan	チャンネルスキャンのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
chd	カバレッジホール検出パラメータをデフォルト値に設定します。
client	クライアントのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
datalink	データリンクのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
diag-channel	診断チャンネルのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
dtim	Delivery Traffic Indicator Message (DTIM) パラメータをデフォルト値に設定します。
exclusionlist	クライアント除外タイムアウトパラメータをデフォルト値に設定します。
ip	IP パラメータをデフォルト値に設定します。
ipv6	IPv6 のパラメータと属性をデフォルト値に設定します。

load-balance	ロードバランシング パラメータをデフォルト値に設定します。
local-auth	Extensible Authentication Protocol (EAP) プロファイルのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
mac-filtering	MAC フィルタリングのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
media-stream	メディア ストリームのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
mfp	管理フレーム保護 (MPF) のパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
mobility	モビリティのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
nac	RADIUS ネットワーク アドミッションコントロール (NAC) パラメータをデフォルト値に設定します。
passive-client	パッシブクライアントパラメータをデフォルト値に設定します。
peer-blocking	ピアツーピアブロッキングのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
radio	ワイヤレス ポリシーのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
roamed-voice-client	ローミングされた音声クライアントのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
security	セキュリティ ポリシーのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
service-policy	WLAN サービス品質 (QoS) ポリシーのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
session-timeout	クライアントセッションタイムアウトパラメータをデフォルト値に設定します。
shutdown	シャットダウンパラメータをデフォルト値に設定します。
sip-cac	Session Initiation Protocol (SIP) のコールアドミッション制御 (CAC) のパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
static-ip	スタティック IP クライアントトンネリングのパラメータと属性をデフォルト値に設定します。

uapsd	Wi-Fi マルチメディア (WMM) 不定期自動省電力配信 (UAPSD) のパラメータと属性をデフォルト値に設定します。
wgb	ワークグループブリッジ (WGB) パラメータをデフォルト値に設定します。
wmm	WMM のパラメータと属性をデフォルト値に設定します。

コマンドデフォルト

なし。

コマンドモード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、Cisco Client Extensio パラメータをデフォルト値に設定する例を示します。

```
Switch(config-wlan)# default ccx aironet-iesupport
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

dtim dot11

WLAN の Delivery Traffic Indicator Message (DTIM) 期間を設定するには、**dtimdot11** コマンドを使用します。DTIM を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
dtim dot11 {5ghz|24ghz} dtim-period
no dtim dot11 {5ghz|24ghz} dtim-period
```

構文の説明	5ghz 5 GHz 帯域の DTIM 期間を設定します。
	24ghz 2.4 GHz 帯域の DTIM 期間を設定します。
	<i>dtim-period</i> DTIM 期間の値。範囲は 1 ~ 255 です。

コマンド デフォルト DTIM 期間は 1 に設定されています。

コマンド モード WLAN の設定

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN で DTIM 期間を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# dtim dot11 24ghz 3
```

次に、2.4 GHz 帯域の WLAN で DTIM 期間を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no dtim dot11 24ghz 3
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

exclusionlist

無線 LAN で除外リストを設定するには、**exclusionlist** コマンドを使用します。除外リストを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

exclusionlist [timeout seconds]

no exclusionlist [timeout]

構文の説明	timeout <i>seconds</i>	(任意) 除外リスト タイムアウトを秒単位で指定します。指定できる範囲は 0 ~ 2147483647 です。値ゼロ (0) はタイムアウトなしを示します。
コマンド デフォルト	除外リストは 60 秒に設定されています。	
コマンド モード	WLAN の設定	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。	
使用上のガイドライン	このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。	

次に、WLAN のクライアント除外リストを設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# exclusionlist timeout 345
```

次に、WLAN のクライアント除外リストを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no exclusionlist timeout 345
```

exit

WLAN コンフィギュレーション サブモードを終了するには、**exit** コマンドを使用します。

exit

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース

変更内容

Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。

次に、WLAN コンフィギュレーション サブモードを終了する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# exit
Switch(config)#
```

exit (WLAN AP グループ)

WLAN アクセスポイント グループ サブモードを終了するには、**exit** コマンドを使用します。

exit

構文の説明 このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード WLAN AP グループ コンフィギュレーション

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、	、、、、 このコマンドが導入されました。

次に、WLAN AP グループ サブモードを終了する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# ap group test
Switch(config-apgroup)# exit
```

ip access-group

WLAN アクセス コントロール グループ (ACL) を設定するには、**ipaccess-group** コマンドを使用します。WLAN ACL グループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip access-group [web] acl-name
no ip access-group [web]
```

構文の説明	web (任意) IPv4 Web ACL を設定します。				
	acl-name セキュリティタイプ値を webauth として、WLAN に使用する preauth ACL を指定します。				
コマンド デフォルト	なし				
コマンド モード	WLAN の設定				
使用上のガイドライン	このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cisco IOS XE 3.2SE、、、、</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。				

次に、WLAN ACL を設定する例を示します。

```
Switch#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)#wlan wlan1
Switch(config-wlan)#ip access-group test-acl
```

次に、IPv4 WLAN Web ACL を設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# ip access-group web test
Switch(config-wlan)#
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

ip flow monitor

IP NetFlow モニタリングを設定するには、**ipflowmonitor** コマンドを使用します。IP NetFlow モニタリングを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ip flow monitor ip-monitor-name {input|output}
no ip flow monitor ip-monitor-name {input|output}
```

構文の説明	<i>ip-monitor-name</i> フロー モニタ名。
	input 入力トラフィックのフローモニタを有効にします。
	output 出力トラフィックのフローモニタを有効にします。
コマンドデフォルト	なし
コマンドモード	WLAN の設定
使用上のガイドライン	このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。
コマンド履歴	リリース 変更内容 Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。

次に、入力トラフィックに IP フロー モニタを設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# ip flow monitor test input
```

次に、IP フロー モニタを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no ip flow monitor test input
```

ip verify source mac-check

WLAN の IPv4 ソース ガード (IPSG) を有効にするには、**ipverifysourcemac-check** コマンドを使用します。IPSG を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ip verify source mac-check
no ip verify source mac-check

構文の説明 このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト IPSG は無効になっています。

コマンド モード WLAN の設定

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、	、、、、 このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン ホストの IP アドレスに基づいて、ホストから特定のインターフェイスへのトラフィックを制限するには、この機能を使用します。機能は、IP スプーフィングを防ぐために、ホストの送信元 MAC と IP をバインドするように設定することもできます。

DHCP スヌーピング、ARP および Dataglean から受信した情報に基づいて、ワイヤレス ホストの IP アドレスと MAC アドレスをバインドするには、この機能を使用します。Dataglean は、DHCP リレーエージェントによって DHCP メッセージが転送された場合に、それらのメッセージからホスト ハードウェア アドレス、ホストに接続されているポートなどのロケーション情報を抽出するプロセスです。ワイヤレス ホストが、スイッチによって学習されていない IP アドレスと MAC アドレスの組み合わせを持つトラフィックの送信を試みた場合、このトラフィックはハードウェアでドロップされます。IPSG は、DHCP パケットではサポートされていません。IPSG は、外部スイッチの外部クライアントではサポートされていません。

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。

次に、IPSG を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# ip verify source mac-check
```

次に、IPSG を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no ip verify source mac-check
```

load-balance

WLAN のロードバランシングを有効にするには、**load-balance** コマンドを使用します。ロードバランシングを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

load-balance
no load-balance

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンドデフォルト

ロードバランシングはデフォルトではディセーブルになっています。

コマンドモード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN でロードバランシングを有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# shutdown
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# load-balance
Switch(config)# no shutdown
Switch(config-wlan)# end
```

次に、WLAN でロードバランシングを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# shutdown
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no load-balance
Switch(config)# no shutdown
Switch(config-wlan)# end
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

mobility anchor

モビリティスティッキアンカリングを設定するには、**mobility anchor sticky** コマンドを使用します。スティッキアンカリングを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ゲストアンカリングを設定するには、**mobility anchor ip-address** コマンドを使用します。

ゲストアンカーを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

デバイスを自動アンカーとして設定するには、**mobility anchor** コマンドを使用します。

mobility anchor {*ip-address*|sticky}
no mobility anchor {*ip-address*|sticky}

構文の説明

sticky クライアントは、関連付けられている最初のスイッチにアンカーされます。

(注) このコマンドはデフォルトで有効になっており、低ローミング遅延を保証します。これは、クライアントがモビリティドメインに参加し、ドメイン内をローミングする場合でも、クライアントの Point of Presence のが変更されないように確保します。

ip-address ゲストアンカースイッチの IP アドレスをこの WLAN に設定します。

コマンドデフォルト

スティッキ設定は、デフォルトでは有効になっています。

コマンドモード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。
Cisco IOS XE 3.3SE	Cisco IOS XE 3.3SE リリースより前の自動アンカー設定ではデバイス IP アドレスを入力する必要がありました。このリリースでは、IP アドレスが指定されていない場合、デバイス自身がアンカーになります。明示的に IP アドレスを指定する必要はありません。

使用上のガイドライン

- wlan_id または guest_lan_id は必ず指定し、無効にする必要があります。
- 1 つ目のモビリティアンカーを設定するときに、WLAN または有線ゲスト LAN で自動アンカーモビリティを有効にします。
- 最後のアンカーを削除すると、自動アンカーモビリティ機能は無効になり、新しいアソシエーションに対しては標準のモビリティが再度使用されるようになります。
- モビリティは、ファイアウォールの通過が許可されている次のポートを使用します。
 - 16666

- 16667
- 16668

次に、スティッキ モビリティ アンカーを有効にする例を示します。

```
Switch(config-wlan)# mobility anchor sticky
```

次に、ゲスト アンカリングを設定する例を示します。

```
Switch(config-wlan)# mobility anchor 209.165.200.224
```

次に、デバイスを自動アンカーとして設定する例を示します。

```
Switch(config-wlan)# mobility anchor
```

nac

WLAN 対応の RADIUS ネットワーク アドミッション コントロール (NAC) サポートを有効にするには、**nac** コマンドを使用します。NAC アウトオブバンド サポートを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

nac
no nac

構文の説明 このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト NAC は無効です。

コマンド モード WLAN の設定

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、	、、、、 このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン RADIUS NAC 状態を有効にする前に、AAA オーバーライドを有効にする必要があります。

次に、WLAN に RADIUS NAC を設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# aaa-override
Switch(config-wlan)# nac
```

次に、WLAN で RADIUS NAC を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no nac
Switch(config-wlan)# no aaa-override
```

関連トピック

[aaa-override](#) (3 ページ)

passive-client

WLAN のパッシブクライアント機能を有効にするには、**passive-client** コマンドを使用します。パッシブクライアント機能を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

passive-client
no passive-client

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンドデフォルト

パッシブクライアント機能は無効になっています。

コマンドモード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを入力する前に、グローバル マルチキャスト モードとマルチキャスト-マルチキャスト モードを有効にする必要があります。マルチキャスト-マルチキャスト モードとマルチキャスト-ユニキャストモードの両方がサポートされています。マルチキャスト-マルチキャスト モードが推奨されます。

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN でパッシブクライアント機能を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wireless multicast
Switch(config)# wlan test-wlan
Switch(config-wlan)# passive-client
```

次に、WLAN でパッシブクライアント機能を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wireless multicast
Switch(config)# wlan test-wlan
Switch(config-wlan)# no passive-client
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

peer-blocking

WLAN にピアツーピア ブロッキング機能を設定するには、**peer-blocking** コマンドを使用します。ピアツーピア ブロッキング機能を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

peer-blocking {drop|forward-upstream}
no peer-blocking

構文の説明

drop	スイッチでパケットを破棄するように指定します。
forward-upstream	パケットがアップストリーム VLAN に転送されるように指定します。スイッチの次に上の階層のデバイスが、パケットに関して実行するアクションを決定します。

コマンド デフォルト

ピア ブロッキングは無効になっています。

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、ピアツーピア ブロッキングの **drop** オプションと **forward-upstream** オプションを有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# peer-blocking drop
Switch(config-wlan)# peer-blocking forward-upstream
```

次に、ピアツーピア ブロッキングの **drop** オプションと **forward-upstream** オプションを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no peer-blocking drop
Switch(config-wlan)# no peer-blocking forward-upstream
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

port

AP グループのポート ID を設定するには、インターフェイス コンフィギュレーション モードで **port** コマンドを使用します。

port *port-id*

構文の説明	<i>port-id</i> ポートの ID。				
コマンド デフォルト	なし				
コマンド モード	インターフェイス コンフィギュレーション (config-apgroup)				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>Cisco IOS XE Denali 16.3.1</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。				

次に、AP グループのポート ID を設定する例を示します。

```
Switch(config-apgroup)# port 1
```

poe

ポートで PoE を有効にするには、インターフェイス コンフィギュレーション モードで **poe** コマンドを使用します。



(注) PoE はポート 1 に対してのみ設定できます。

poe
no poe

コマンド デフォルト デフォルトでは、PoE は無効です。

コマンド モード インターフェイス コンフィギュレーション (config-port-apgroup)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。

次に、ポートで PoE を有効にする方法を示します。

```
Switch(config-port-apgroup)# poe
```

radio

WLAN のシスコ無線ポリシーを有効にするには、**radio** コマンドを使用します。WLAN のシスコ無線ポリシーを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

radio {all|dot11a|dot11ag|dot11bg|dot11g}

no radio

構文の説明	<p>all すべての無線帯域で WLAN を設定します。</p> <p>dot11a 802.11a の無線帯域だけに WLAN を設定します。</p> <p>dot11ag 802.11a/g の無線帯域に WLAN を設定します。</p> <p>dot11bg 802.11b/g 無線帯域だけに無線 LAN を設定します (802.11g が無効な場合は 802.11b だけに設定)。</p> <p>dot11g 802.11g の無線帯域だけに無線 LAN を設定します。</p>
コマンドデフォルト	無線ポリシーは、すべての帯域で有効になっています。
コマンドモード	WLAN の設定
コマンド履歴	<p>リリース</p> <p>変更内容</p> <p>Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。</p>

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、すべての無線帯域に無線 LAN を設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# radio all
```

次に、WLAN 上のすべての無線帯域を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no radio all
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

radio-policy

WLAN アクセス ポイントグループに無線ポリシーを設定するには、**radio-policy** コマンドを使用します。WLAN の無線ポリシーを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
radio-policy {all|dot11a|dot11b|dot11g}
no radio {all|dot11a|dot11b|dot11g}
```

構文の説明	<p>all すべての無線帯域で無線 LAN を設定します。</p> <p>dot11a 802.11a 無線帯域だけに無線 LAN を設定します。</p> <p>dot11b 802.11b/g だけに無線 LAN を設定します（802.11g が無効な場合は 802.11b だけに設定）。</p> <p>dot11g 802.11g 無線帯域だけに無線 LAN を設定します。</p>
コマンド デフォルト	無線ポリシーは、すべての帯域で有効になっています。
コマンド モード	WLAN AP グループ コンフィギュレーション
コマンド履歴	<p>リリース</p> <p>変更内容</p> <p>Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。</p>

使用上のガイドライン 変更を有効にするには、NTP サービスを再起動する必要があります。WLAN をシャットダウンする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、AP グループの 802.11b 帯域で無線ポリシーを有効にする例を示します。

```
Switch(config)# ap group test
Switch(config-apgroup)# wlan test-wlan
Switch(config-wlan-apgroup)# radio-policy dot11b
```

次に、AP グループの 802.11b 帯域で無線ポリシーを無効にする例を示します。

```
Switch(config)# ap group test
Switch(config-apgroup)# wlan test-wlan
Switch(config-wlan-apgroup)# no radio-policy dot11b
```

関連トピック

- [wlan](#) (71 ページ)
- [wlan shutdown](#) (72 ページ)

remote-lan

リモート LAN プロファイル名を指定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **remote-lan** コマンドを使用します。設定したプロファイル名を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

remote-lan *profile-name id*
no remote-lan *profile-name id*

構文の説明	<i>profile-name</i> リモート LAN プロファイル名。				
	<i>id</i> リモート LAN の識別子。範囲は 1～64 です。				
コマンド デフォルト	なし				
コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション (config)				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>Cisco IOS XE Denali 16.3.1</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。				

次に、リモート LAN プロファイル名を指定する例を示します。

```
Switch(config)# remote-lan test-lan 3
```

remote-lan

リモート LAN を AP グループに追加するには、インターフェイス コンフィギュレーション モードで **remote-lan** コマンドを使用します。AP グループ内のリモート LAN を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

remote-lan *remote-lan-name*
no remote-lan *remote-lan-name*



(注) **remote-lan remote-lan-name** コマンドは、リモート LAN をポートにマッピングする際にも必要です。

構文の説明

remote-lan-name リモート LAN の名前。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション (config-apgroup)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。

次に、リモート LAN を AP グループに追加する例を示します。

```
Switch(config-apgroup)# remote-lan test-lan
```

roamed-voice-client re-anchor

ローミングしている音声クライアントのリアンカー機能を有効にするには、**roamed-voice-client re-anchor** コマンドを使用します。ローミングしている音声クライアントのリアンカー機能を向こうにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

roamed-voice-client re-anchor
no roamed-voice-client re-anchor

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

ローミングしている音声クライアントのリアンカー機能は無効になっています。

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次にローミングしている音声クライアントのリアンカー機能を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# roamed-voice-client re-anchor
```

次にローミングしている音声クライアントのリアンカー機能を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no roamed-voice-client re-anchor
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

security ft

802.11r Fast Transition パラメータを設定するには、**security ft** コマンドを使用します。**over the air**（無線）の Fast Transition を設定するには、**no security ft over-the-ds** コマンドを使用します。

```
security ft [{over-the-ds|reassociation-timeout timeout-jn-seconds}]
no security ft [{over-the-ds|reassociation-timeout}]
```

構文の説明	over-the-ds	(任意) 802.11r Fast Transition が分散システムを介して発生するように指定します。このパラメータを指定したコマンドのno形式は、無線を介したセキュリティ Fast Transition を設定します。
	reassociation-timeout	(任意) 再アソシエーションのタイムアウト間隔を設定します。
	timeout-in-seconds	(任意) 再アソシエーションのタイムアウト間隔を秒単位で指定します。有効な範囲は 1 ~ 100 です。デフォルト値は 20 です。
コマンド デフォルト	機能はディセーブルです。	
コマンド モード	WLAN の設定	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.3SE	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	なし WLAN セキュリティを有効にする必要があります。	

例

次に、オープンな WLAN のセキュリティ FT を設定する例を示します:

```
Switch#wlan test
Switch(config-wlan)# client vlan 0140
Switch(config-wlan)# no mobility anchor sticky
Switch(config-wlan)# no security wpa
Switch(config-wlan)# no security wpa akm dot1x
Switch(config-wlan)# no security wpa wpa2
Switch(config-wlan)# no security wpa wpa2 ciphers aes
Switch(config-wlan)# security ft
Switch(config-wlan)# shutdown
```

次に、WPA 対応の WLAN のセキュリティ FT を表示する例を示します。

```
Switch# wlan test
Switch(config-wlan)# client vlan 0140
Switch(config-wlan)# no security wpa akm dot1x
```

```
Switch(config-wlan)# security wpa akm ft psk
Switch(config-wlan)# security wpa akm psk set-key ascii 0 test-test
Switch(config-wlan)# security ft
Switch(config-wlan)# no shutdown
```

security pmf

WLAN に 802.11w 管理フレーム保護 (PMF) を設定するには、**security pmf** コマンドを使用します。管理フレーム保護を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
security pmf {association-comeback
association-comeback-time-seconds|mandatory|optional|saquery-retry-time
saquery-retry-time-milliseconds}
no security pmf [{association-comeback
association-comeback-time-seconds|mandatory|optional|saquery-retry-time
saquery-retry-time-milliseconds}]
```

構文の説明	association-comeback	802.11w アソシエーション復帰時間を設定します。
	<i>association-comeback-time-seconds</i>	アソシエーション復帰間隔 (秒単位)。アソシエーションがステータスコード 30 によって拒否された後に、アソシエートされているクライアントがアソシエーションを再試行するまでに待機する必要がある時間間隔。ステータスコード 30 のメッセージは、「Association request rejected temporarily; Try again later」です。 有効範囲は 1 ~ 20 秒です。
	mandatory	クライアントが WLAN の 802.11w PMF 保護をネゴシエートする必要があることを指定します。
	optional	WLAN がクライアントでの 802.11w サポートを必要としていないことを指定します。802.11w 機能のないクライアントも、参加可能です。
	saquery-retry-time	SA クエリの応答を受け取るまでの時間。スイッチが応答を受け取らなかった場合、別の SA クエリーが試行されます。
	<i>saquery-retry-time-milliseconds</i>	SA クエリーの再試行時間は、ミリ秒単位で指定します。指定できる範囲は 100 ~ 500 ミリ秒です。値には 100 ミリ秒の倍数を指定する必要があります。
コマンド デフォルト	PMF は無効になっています。	
コマンド モード	WLAN の設定	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.3SE	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン この機能を使用するには、WPA（Wi-Fi Protected Access）と AKM（認証キー管理）が設定されている必要があります。セキュリティパラメータの設定の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

802.11w では、ブロードキャストまたはマルチキャストの堅牢な管理フレームを保護するために使用される Integrity Group Temporal Key (IGTK) が導入されています。IGTK は、ソース STA からの MAC 管理プロトコルデータユニット (MMPDU) を保護するために使用するオーセンティケータステーション (スイッチ) によって割り当てられる、ランダムな値です。

802.11w IGTK キーは、4 ウェイハンドシェイクを使用して取得され、レイヤ 2 で WPA2 セキュリティが設定されている WLAN でのみ使用されます。

次に、アソシエーション復帰時間値を 15 秒で有効にする例を示します。

```
Switch(config-wlan)# security pmf association-comeback 15
```

次に、WLAN のクライアントに必須の 802.11w MPF 保護を設定する例を示します。

```
Switch(config-wlan)# security pmf mandatory
```

次に、WLAN のクライアントにオプションの 802.11w MPF 保護を設定する例を示します。

```
Switch(config-wlan)# security pmf optional
```

次に、saquery パラメータを設定する例を示します。

```
Switch(config-wlan)# security pmf saquery-retry-time 100
```

次に、PMF 機能を無効にする例を示します。

```
Switch(config-wlan)# no security pmf
```

関連トピック

[security wpa akm](#) (49 ページ)

security web-auth

WLAN で使用する Web 認証のステータスを変更するには、**securityweb-auth** コマンドを使用します。WLAN で Web 認証を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
security web-auth [{authentication-list authentication-list-name|on-macfilter-failure|parameter-map
parameter-map-name}]
no security web-auth [{authentication-list
[authentication-list-name]|on-macfilter-failure|parameter-map [parameter-name]}]
```

構文の説明	authentication-list <i>authentication-list-name</i> IEEE 802.1x の認証リストを設定します。
	on-macfilter-failure MAC の失敗時の Web 認証を有効にします。
	parameter-map <i>parameter-map-name</i> パラメータ マップを設定します。
コマンド デフォルト	Web 認証はディセーブルです。
コマンド モード	WLAN の設定
コマンド履歴	リリース 変更内容 Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。

例

次に、WLAN に認証リストによる Web 認証を設定する例を示します。

```
Switch(config-wlan)# security web-auth authentication-list test
```


security wpa akm

Cisco Centralized Key Management (CCKM) を使用して認証キー管理を設定するには、**security wpa akm** コマンドを使用します。Cisco Centralized Key Management の認証キー管理を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
security wpa [{akm {cckm|dot1x|ft|pmf|psk}}|wpa1 [ciphers {aes|tkip}}|wpa2 [ciphers {aes|tkip}}]
no security wpa [{akm {cckm|dot1x|ft|pmf|psk}}|wpa1 [ciphers {aes|tkip}}|wpa2 [ciphers {aes|tkip}}]
```

構文の説明

akm	認証キー管理 (AKM) パラメータを設定します。
aes	AES (Advanced Encryption Standard) 暗号化サポートを設定します。
cckm	Cisco Centralized Key Management のサポートを設定します。
ciphers	WPA 暗号方式を設定します。
dot1x	802.1x のサポートを設定します。
ft	802.11r を使用して Fast Transition を設定します。
pmf	802.11w 管理フレーム保護を設定します。
psk	802.11r Fast Transition の事前共有キー (PSK) のサポートを設定します。
tkip	Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) 暗号化のサポートを設定します。
wpa2	Wi-Fi Protected Access 2 (WPA2) のサポートを設定します。

コマンド デフォルト デフォルトでは Wi-Fi Protected Access2、802.1x は有効になっています。WPA2、PSK、CCKM、FT dot1x、FT PSK、PMF dot1x、PMF PSK、FT のサポートは無効になっています。FT の再アソシエーションのタイムアウトは 20 秒、PMF SA クエリ時間は 200 に設定されています。

コマンド モード WLAN の設定

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.3SE	このコマンドが導入されました。

例

次に、WLAN に CCKM を設定する例を示します。

```
Switch(config-wlan)#security wpa akm cckm
```

service-policy (WLAN)

WLAN サービス品質 (QoS) サービス ポリシーを設定するには、**service-policy** コマンドを使用します。WLAN の QoS ポリシーを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
service-policy [client] {input|output} policy-name
no service-policy [client] {input|output} policy-name
```

構文の説明	<p>client (任意) WLAN 上のすべてのクライアントにポリシーマップを割り当てます。</p> <p>input 入力ポリシー マップを割り当てます。</p> <p>output 出力ポリシー マップを割り当てます。</p> <p><i>policy-name</i> ポリシー名。</p>				
コマンドデフォルト	ポリシーが割り当てられない場合、ポリシーに割り当てられる状態は [None] になります。				
コマンドモード	WLAN の設定				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cisco IOS XE 3.2SE、</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。				

例

次の例では、WLAN の入力 QoS サービス ポリシーを設定する方法を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# service-policy input policy-test
```

次の例では、WLAN の入力 QoS サービス ポリシーをディセーブルにする方法を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no service-policy input policy-test
```

次に、WLAN の出力 QoS サービス ポリシーを platinum (貴金属ポリシー) に設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# service-policy output platinum
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

session-timeout

WLAN に関連付けられたクライアントのセッション タイムアウトを設定するには、**session-timeout** コマンドを使用します。WLAN に関連付けられたクライアントのセッション タイムアウトを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

session-timeout seconds
no session-timeout

構文の説明	<i>seconds</i> タイムアウトまたはセッション時間 (秒)。値 0 は、タイムアウトなしに相当します。範囲は 300 ~ 86400 です。				
コマンド デフォルト	dot1x セキュリティが設定された WLAN の場合、クライアントのタイムアウトは 1800 秒に設定されます。オープンな WLAN の場合、クライアントのタイムアウトは 0 に設定されます。				
コマンド モード	WLAN の設定				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cisco IOS XE 3.2SE、</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。				

次に、セッション タイムアウトを 300 秒に設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# session-timeout 300
```

次に、セッション タイムアウトを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no session-timeout
```

show remote-lan all

設定済みのすべてのリモート LAN のリモート LAN プロパティを表示するには、**show remote-lan all** コマンドを使用します。

show remote-lan all

構文の説明	このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。
コマンド デフォルト	なし
コマンド モード	特権 EXEC (#)

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。

次に、設定済みのすべてのリモート LAN のリモート LAN プロパティを表示する例を示します。

```
Switch#show remote-lan all
Remote-LAN Profile Name : test
=====
Identifier : 1
Status : Disabled
Universal AP Admin : Disabled
Max Associated Clients per Remote-LAN : 0
AAA Policy Override : Disabled
Number of Active Clients : 0
Exclusionlist Timeout : 60
Session Timeout : 1800 seconds
Interface : default
Interface Status : Up
Remote-LAN ACL : unconfigured
DHCP Server : 0.0.0.0
DHCP Address Assignment Required : Disabled
Local EAP Authentication : Disabled
Mac Filter Authorization list name : Disabled
Accounting list name : Disabled
802.1x authentication list name : Disabled
Security
802.11 Authentication : Open System
802.1X : Disabled
Web Based Authentication : Disabled
Conditional Web Redirect : Disabled
Splash-Page Web Redirect : Disabled
Webauth On-mac-filter Failure : Disabled
Webauth Authentication List Name : Disabled
Webauth Parameter Map : Disabled
```

show remote-lan id

ID 別にリモート LAN 設定を表示するには、**show remote-lan id** コマンドを使用します。

show remote-lan id *id*

構文の説明	<i>id</i> リモート LAN の識別子。範囲は1～64です。				
コマンドデフォルト	なし				
コマンドモード	特権 EXEC (#)				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cisco IOS XE Denali 16.3.1</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。				

次に、ID 別にリモート LAN 設定を表示する例を示します。

```
Switch #show remote-lan id 2
Remote-LAN Profile Name      : test
=====
Identifier                    : 2
Status                        : Disabled
Universal AP Admin           : Disabled
Max Associated Clients per Remote-LAN : 0
AAA Policy Override          : Enabled
Number of Active Clients     : 0
Exclusionlist Timeout        : 21474
Session Timeout              : 864 seconds
Interface                    : default
Interface Status             : Up
Remote-LAN ACL               : testacl
DHCP Server                  : 10.5.7.9
DHCP Address Assignment Required : Disabled
Local EAP Authentication     : testeaprofile
Mac Filter Authorization list name : testmaclist
Accounting list name         : testlist
802.1x authentication list name : dotxauth
Security
  802.11 Authentication      : Open System
  802.1X                     : Enabled
  Encryption                 : 104-bit WEP
```

show remote-lan name

プロファイル名別にリモート LAN 設定を表示するには、**show remote-lan name** コマンドを使用します。

show remote-lan name *name*

構文の説明	<i>name</i> リモート LAN プロファイル名。				
コマンド デフォルト	なし				
コマンド モード	特権 EXEC (#)				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cisco IOS XE Denali 16.3.1</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。				

次に、プロファイル名別にリモート LAN 設定を表示する例を示します。

```
Switch# show remote-lan name test
Remote-LAN Profile Name : test
=====
Identifier : 1
Status : Disabled
Universal AP Admin : Disabled
Max Associated Clients per Remote-LAN : 0
AAA Policy Override : Disabled
Number of Active Clients : 0
Exclusionlist Timeout : 60
Session Timeout : 1800 seconds
Interface : default
Interface Status : Up
Remote-LAN ACL : unconfigured
DHCP Server : 0.0.0.0
DHCP Address Assignment Required : Disabled
Local EAP Authentication : Disabled
Mac Filter Authorization list name : Disabled
Accounting list name : Disabled
802.1x authentication list name : Disabled
Security
802.11 Authentication : Open System
802.1X : Disabled
Web Based Authentication : Disabled
Conditional Web Redirect : Disabled
Splash-Page Web Redirect : Disabled
Webauth On-mac-filter Failure : Disabled
Webauth Authentication List Name : Disabled
Webauth Parameter Map : Disabled
```


show remote-lan summary

すべてのリモート LAN のサマリーを表示するには、**show remote-lan summary** コマンドを使用します。

show remote-lan summary

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

特権 EXEC (#)

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。

次に、すべてのリモート LAN のサマリーを表示する例を示します。

```
Switch # show remote-lan summary
Number of Remote-LANs: 1
```

```
Remote-LAN Profile Name          VLAN Status
-----
2          test                   1      DOWN
```

show running-config remote-lan

リモート LAN 設定を表示するには、**show running-config remote-lan** コマンドを使用します。

show running-config remote-lan *name*

構文の説明	<i>name</i> リモート LAN プロファイル名。				
コマンド デフォルト	なし				
コマンド モード	特権 EXEC (#)				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cisco IOS XE Denali 16.3.1</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE Denali 16.3.1	このコマンドが導入されました。				

次に、リモート LAN 設定を表示する例を示します。

```
Switch# show running-config remote-lan test
remote-lan test 1
aaa-override
accounting-list test-all-list
exclusionlist timeout 100
ip access-group test-acl
ip dhcp server 10.100.12.5
mac-filtering test-mac-list
security dot1x authentication-list test-dot1x-list
session-timeout 100
shutdown
```

show wlan

WLAN パラメータを表示するには、**show wlan** コマンドを使用します。

```
show wlan {all |id wlan-id|name wlan-name |summary}
```

構文の説明	all	すべての設定済み WLAN のパラメータのサマリーを表示します。リストはWLANIDの昇順に表示されます。
	id wlan-id	無線 LAN の識別子を指定します。範囲は 1 ～ 512 です。
	name wlan-name	WLAN プロファイル名を指定します。名前は 1 ～ 32 文字です。
	summary	WLAN に設定されているパラメータのサマリーを表示します。

コマンドデフォルト なし

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴 リリース 変更内容

Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。

次に、デバイスに設定されている WLAN のサマリーを表示する例を示します。

```
Switch# show wlan summary
Number of WLANs: 1
```

```
WLAN Profile Name          SSID          VLAN Status
-----
45  test-wlan                test-wlan-ssid  1    UP
```

次に、特定の WLAN に設定されているパラメータのサマリーを表示する例を示します。

```
Switch# show wlan name test-wlan
WLAN Identifier           : 45
Profile Name              : test-wlan
Network Name (SSID)      : test-wlan-ssid
Status                    : Enabled
Broadcast SSID           : Enabled
Maximum number of Associated Clients : 0
AAA Policy Override      : Disabled
Network Admission Control
  NAC-State                : Disabled
Number of Active Clients  : 0
Exclusionlist Timeout     : 60
Session Timeout          : 1800 seconds
```

```

CHD per WLAN : Enabled
Webauth DHCP exclusion : Disabled
Interface : default
Interface Status : Up
Multicast Interface : test
WLAN IPv4 ACL : test
WLAN IPv6 ACL : unconfigured
DHCP Server : Default
DHCP Address Assignment Required : Disabled
DHCP Option 82 : Disabled
DHCP Option 82 Format : ap-mac
DHCP Option 82 Ascii Mode : Disabled
DHCP Option 82 Rid Mode : Disabled
QoS Service Policy - Input
  Policy Name : unknown
  Policy State : None
QoS Service Policy - Output
  Policy Name : unknown
  Policy State : None
QoS Client Service Policy
  Input Policy Name : unknown
  Output Policy Name : unknown
WifiDirect : Disabled
WMM : Disabled
Channel Scan Defer Priority:
  Priority (default) : 4
  Priority (default) : 5
  Priority (default) : 6
Scan Defer Time (msecs) : 100
Media Stream Multicast-direct : Disabled
CCX - AironetIe Support : Enabled
CCX - Gratuitous ProbeResponse (GPR) : Disabled
CCX - Diagnostics Channel Capability : Disabled
Dot11-Phone Mode (7920) : Invalid
Wired Protocol : None
Peer-to-Peer Blocking Action : Disabled
Radio Policy : All
DTIM period for 802.11a radio : 1
DTIM period for 802.11b radio : 1
Local EAP Authentication : Disabled
Mac Filter Authorization list name : Disabled
Accounting list name : Disabled
802.1x authentication list name : Disabled
Security
  802.11 Authentication : Open System
  Static WEP Keys : Disabled
  802.1X : Disabled
  Wi-Fi Protected Access (WPA/WPA2) : Enabled
    WPA (SSN IE) : Disabled
    WPA2 (RSN IE) : Enabled
      TKIP Cipher : Disabled
      AES Cipher : Enabled
  Auth Key Management
    802.1x : Enabled
    PSK : Disabled
    CCKM : Disabled
  IP Security : Disabled
  IP Security Passthru : Disabled
  L2TP : Disabled
  Web Based Authentication : Disabled
  Conditional Web Redirect : Disabled
  Splash-Page Web Redirect : Disabled
  Auto Anchor : Disabled
  Sticky Anchoring : Enabled

```

```
Cranite Passthru           : Disabled
Fortress Passthru         : Disabled
PPTP                       : Disabled
Infrastructure MFP protection : Enabled
Client MFP                 : Optional
Webauth On-mac-filter Failure : Disabled
Webauth Authentication List Name : Disabled
Webauth Parameter Map     : Disabled
Tkip MIC Countermeasure Hold-down Timer : 60
Call Snooping              : Disabled
Passive Client             : Disabled
Non Cisco WGB             : Disabled
Band Select                : Disabled
Load Balancing            : Disabled
IP Source Guard           : Disabled
Netflow Monitor           : test
    Direction              : Input
    Traffic                 : Datalink

Mobility Anchor List
IP Address
-----
```

show wireless wlan summary

ワイヤレス WLAN のサマリーを表示するには、**show wireless wlan summary** コマンドを使用します。

show wireless wlan summary

構文の説明	このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。
コマンド デフォルト	なし
コマンド履歴	リリース 変更内容 15.2(3)E このコマンドが導入されました。

次に、**show wireless wlan summary** コマンドの出力例を示します。

```
Cisco-Controller# show wireless wlan summary
```

```
Total WLAN Configured: 3
```

```
Total Client Count: 0
```

ID	Profile Name	SSID	Security	Radio	VLAN	
Client	Status					
1	Test1 DOWN	xxx	WPA1/WPA2	All	1	0
2	wlan1 DOWN	wlan2-ssid	WPA1/WPA2	All	1	0
3	wlan3 DOWN	mywlan3	WPA1/WPA2	All	1	0

shutdown

WLAN を無効にするには、**shutdown** コマンドを使用します。WLAN フェイスを有効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

shutdown
no shutdown



(注) AP グループ設定とリモート LAN プロファイルの LAN ポートを有効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース 変更内容

Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。

次に、WLAN を無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan test-wlan
Switch(config-wlan)# shutdown
Switch(config-wlan)# end
Switch# show wlan summary
Number of WLANs: 1
```

WLAN Profile Name	SSID	VLAN Status
45 test-wlan	test-wlan-ssid	1 DOWN

次に、WLAN を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan test-wlan
Switch(config-wlan)# no shutdown
Switch(config-wlan)# end
Switch# show wlan summary
Number of WLANs: 1
```

WLAN Profile Name	SSID	VLAN Status
45 test-wlan	test-wlan-ssid	1 UP

sip-cac

WLAN の Session Initiation Protocol (SIP) コールアドミッション制御 (CAC) 機能を設定するには、**sip-cac** コマンドを使用します。SIP CAC 機能を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
sip-cac {disassoc-client|send-486busy}
no sip-cac {disassoc-client|send-486busy}
```

構文の説明

disassoc-client CACに障害が発生した場合に、クライアント関連付けの解除を有効にします。

send-486busy CACに障害が発生した場合に、SIP 486 ビジーメッセージを送信します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、	、、、

このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN 上でクライアント関連付けの解除および486 ビジーメッセージを有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# sip-cac disassoc-client
Switch(config-wlan)# sip-cac send-486busy
```

次に、WLAN 上でクライアント関連付けおよび486 ビジーメッセージを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no sip-cac disassoc-client
Switch(config-wlan)# no sip-cac send-486busy
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

static-ip tunneling

WLAN のスタティック IP トンネリング機能を有効にするには、**static-ip tunneling** コマンドを使用します。スタティック IP トンネリング機能を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

static-ip tunneling
no static-ip tunneling

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。

次に、スタティック IP トンネリングを有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# static-ip tunneling
```

次に、スタティック IP トンネリングを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# no static-ip tunneling
```

vlan

AP グループに VLAN を割り当てるには、**vlan** コマンドを使用します。VLAN ID を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
vlan interface-name
no vlan
```

構文の説明

interface-name VLAN インターフェイス名。

コマンド デフォルト

VLAN が AP グループに割り当てられていません。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

コマンド モード

WLAN AP グループの設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。

次の例では、AP グループで VLAN を設定する方法を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# ap group ap-group-1
Switch(config-apgroup)# wlan test-wlan
Switch(config-wlan-apgroup)# vlan 3
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

universal-admin

WLAN をユニバーサル管理として設定するには、**universal-admin** コマンドを使用します。設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

universal-admin

コマンド デフォルト なし

コマンド モード WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
------	------

Cisco IOS XE 3.7.0	このコマンドが導入されました。
E	

```
Switchenable
Switch#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)#wlan wlan1
Switch(config-wlan)#universal-admin
```

wgb non-cisco

WLAN でシスコ以外のワークグループブリッジ (WGB) クライアントを有効にするには、**wgbnon-cisco** コマンドを使用します。シスコ以外の WGB クライアントのサポートを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

wgb non-cisco
no wgb non-cisco

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

コマンド デフォルト

シスコ以外の WGB クライアントは無効です。

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN でシスコ以外の WGB を有効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# shutdown
Switch(config-wlan)# wgb non-cisco
Switch(config-wlan)# no shutdown
```

次に、WLAN でシスコ以外の WGB クライアントのサポートを無効にする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# shutdown
Switch(config-wlan)# no wgb non-cisco
Switch(config-wlan)# no shutdown
```

wifidirect policy

WLAN で Wi-Fi Direct クライアント ポリシーを設定するには、**wifidirect policy** コマンドを使用します。Wi-Fi Direct クライアント ポリシーを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

wifidirect policy {permit|deny}

構文の説明

permit Wi-Fi Direct クライアントを有効にして WLAN と関連付けます。

deny Wi-Fi Direct ポリシーが「拒否」に設定されている場合は、デバイス機能に基づいてスイッチが Wi-Fi Direct デバイスを許可または拒否します。Wi-Fi Direct デバイスは、関連付け要求でこれらの機能をスイッチにレポートします。これは、このデバイスの Wi-Fi 機能に基づいて行われます。次の作業を行います。

- 同時操作
- 相互接続

Wi-Fi デバイスが同時操作または相互接続、あるいはその両方をサポートする場合は、クライアントの関連付けは拒否されます。クライアントは、デバイスが同時操作と相互接続をサポートしない場合に関連付けることができます。

コマンド デフォルト

Wi-Fi Direct を無効にします。

コマンド モード

WLAN の設定

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.3SE	このコマンドが導入されました。

例

次に、Wi-Fi Direct を有効にし、Wi-Fi Direct クライアントを設定して WLAN に関連付ける例を示します。

```
Switch(config-wlan)# wifidirect policy permit
```

wlan (AP グループの設定)

アクセスポイント (AP) グループの WLAN の WLAN パラメータを設定するには、**wlan** コマンドを使用します。AP グループから WLAN を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
wlan wlan-name
no wlan wlan-name
```

構文の説明	<i>wlan-name</i> WLAN プロファイル名入力できる範囲は英数字で1～32文字です。				
コマンド デフォルト	WLAN パラメータは、APグループに対して設定されていません。				
コマンド モード	AP グループの設定				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Cisco IOS XE 3.2SE、、、、</td> <td>このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。				

次に、AP グループ コンフィギュレーション モードで WLAN 関連パラメータを設定する例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# ap group test
Switch(config-apgroup)# wlan qos-wlan
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

wlan

無線 LAN を作成するには、**wlan** コマンドを使用します。無線 LAN をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
wlan [{wlan-name|wlan-name wlan-id|wlan-name wlan-id wlan-ssid}]
no wlan [{wlan-name|wlan-name wlan-id|wlan-name wlan-id wlan-ssid}]
```

構文の説明	<i>wlan-name</i> WLAN プロファイル名名前には、1～32文字の英数字を使用できます。
	<i>wlan-id</i> 無線 LAN の ID。範囲は 1～512 です。
	<i>wlan-ssid</i> SSID。入力できる範囲は英数字で 1～32文字です。
コマンドデフォルト	WLAN はディセーブルになっています。
コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション
コマンド履歴	リリース 変更内容 Cisco IOS XE 3.2SE、、、、 このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン SSID を指定しない場合は、プロファイル名パラメータがプロファイル名と SSID の両方に使用されます。管理インターフェイスおよび AP マネージャインターフェイスが同じポートにマップされており、いずれも同じ VLAN のメンバである場合は、WLAN を無効にしてから、ポートマッピングをいずれかのインターフェイスに変更する必要があります。管理インターフェイスと AP マネージャ（アクセス ポイント マネージャ）インターフェイスが別々の VLAN に割り当てられている場合は、WLAN を無効にする必要はありません。

アクセス ポイントグループに割り当てられている WLAN を削除しようとするすると、エラーメッセージが表示されます。そのまま続行すると、アクセス ポイントグループとアクセス ポイントの無線から WLAN が削除されます。

次の例では、WLAN を作成する方法を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config)# wlan test-wlan-cr 67 test-wlan-cr-ssid
```

次の例では、WLAN を削除する方法を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config)# no wlan test-wlan-cr 67 test-wlan-cr-ssid
```

wlan shutdown

WLAN を無効にするには、**wlan shutdown** コマンドを使用します。WLAN フェイスを有効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

wlan shutdown
no wlan shutdown

コマンド デフォルト WLAN は無効になっています。

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴	リリース	変更内容
	Cisco IOS XE 3.2SE、	、、、、 このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用する前に、WLAN をディセーブルにする必要があります。WLAN をディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。

次に、WLAN をシャットダウンする例を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
Switch(config)# wlan wlan1
Switch(config-wlan)# shutdown
```

関連トピック

[wlan](#) (71 ページ)

wmm

WLAN で Wi-Fi マルチメディア (WMM) を有効にするには、**wmm** コマンドを使用します。WLAN で WMM を無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
wmm {allowed|require}
no wmm
```

構文の説明	<p>allowed WLAN での WMM の使用を許可します。</p> <p>require クライアントが WLAN で WMM を使用することを要求します。</p>				
コマンド デフォルト	WMM は有効になっています。				
コマンド モード	WLAN の設定				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="425 848 764 884">リリース</th> <th data-bbox="781 848 1261 884">変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="425 898 764 926">Cisco IOS XE 3.2SE、、、、</td> <td data-bbox="781 898 1261 926">このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
Cisco IOS XE 3.2SE、、、、	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	<p>スイッチがレイヤ2モードで、WMMが有効化されている場合にアクセスポイントをスイッチに結合できるようにするには、これらのアクセスポイントをトランクポート上に配置する必要があります。</p> <p>このコマンドを使用する前に、WLANをディセーブルにする必要があります。WLANをディセーブルにする方法の詳細については、「関連コマンド」の項を参照してください。</p> <p>次に、WLANでWMMを有効にする例を示します。</p> <pre>Switch# configure terminal Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z. Switch(config)# wlan wlan1 Switch(config-wlan)# wmm allowed</pre> <p>次に、WLANでWMMを無効にする例を示します。</p> <pre>Switch# configure terminal Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z. Switch(config)# wlan wlan1 Switch(config-wlan)# no wmm</pre> <p>関連トピック</p> <p>wlan (71 ページ)</p>				

